2018年度JJYU海外セーリング研修（オーストラリアからのレポート）

今回は2019年1月30日～2月6日の日程で行われた海外セーリング研修の模様を、同行したJJYU小野澤理事のレポートでお送りします。
今回の研修は西オーストラリアのロイヤルパースヨットクラブで開催され、B&G高松海洋クラブ、葉山町セーリング協会のメンバーが参加しました。

1日目

高松組と東京組はシンガポール空港で落ち合って、1月31日の午前6時にパース空港に到着しました。
AndrewとMichaelのMcAullay兄弟が2台で迎えにきて、Andrew宅で奥様Heren手作りの朝食をいただき、プールでしっかり遊び、公園でカンガルーなどを見て、ロイヤルパースヨットクラブのクラブハウスに行きました。
　ホストファミリーの紹介を受け、皆さんが厚いホスピタリティで子供たちを迎えてくれました。
その後、ホストファミリーの子供たちと一緒にSUPを楽しみ、あっという間に打ち解けていました。

2日目

2日目は、前日の長い飛行機旅の疲れもあり、朝はゆっくりとして10時にクラブハウスに集合しました。早速、昨日ジャンケンで決めたチャーター艇6隻のフィッティングを行いました。足らない部品や取り換えの必要な艤装品をチェックして、11時には完了しました。
　午後2時に入って南西からのシーブリーズが安定してきたので、出艇してセーリング練習を行いました。
レーザー4.7の2隻、OPの4隻で、ローリング、スピード練習、コース練習を行いました

3日目

RPYC ARGONAUT Mini Series 2019 レース初日
午前中にOPオープンとレーザー4.7は3レースを消化しました。しかし、3レース目は20ノットの強風になったこともあり、高松から参加の川北創一と石井瑛大は第3レースはリタイアとなり曳航されて帰着しました。その他の選手は、チンは数回したものの完走してフィニッシュし、お昼のランチタイムで戻りました。

美味しいサンドイッチウィチのご馳走をいただき、午後の出艇を待っていたところ笛が鳴り、午後のレースは風速20ノットオーバーが予想されたので中止となりました。

4日目

レーザー4.7のヒロトとスミレのスタート

OPクラスのスタート

4日目は、レースの最終日です。昨日は強風のため午後のレースは中止となりましたが、その強風の影響が残っていた午前中でした。8時30分の艇長会議に出艇申告や抗議についての説明と天候ついての説明がありました。南西のシーブリーズはおさまっていましたが、南の風が20ノット近く吹いていましたので、選手6名を集めて説明をしたところ、頑張ってレースをするとのことになり、石井瑛大だけは小学生で体力的なこともあり、午前中の出艇は取り止めました。

昼食を食べてから、午後は瑛大も出艇し、1レースをこなすことができました。

この日の結果は、OPオープン、レーザー4.7ともに午前中強風の3レース、午後も幾分風は落ちたものの6～8m/sの風が吹き続けましたが、1レースを行い、合計4レースを行いました。

表彰式では、選手全員の紹介とお礼の挨拶をしました。

５日目

ランチを漁港のシーフードレストランに行って、フィッシュ＆チップスを美味しくいただきました。

昨日までのレースも無事終了して、ホームステイ先でリラックスしてゆっくりと眠ることができました。遅くなったランチを近くの漁港のシーフードレストランに行って、本場のフィッシュ＆チップスを美味しくいただきました。あっという間のパース海外研修でしたが、あと1日になりました。皆さん、口を揃えて「帰りたくな～い」とのことです。

地下鉄のプラットフォームで

６日目

最終日はお買い物デーです。9時30分にホテルに集合。ホテルの背面にあるキングスパークに登る200段の階段を上がり歩くこと20分、お土産屋などのあるウォータータウンに 到着しました。2時間をかけてお土産品のTシャツや小物入れ、ぬいぐるみ、キーホルダー、ボールペンなどを中心に買いました。次に、食料品もお土産にしたいということで、バスに乗ってダウンタウンのマーケットに向かいます。ハチミツ、チョコレート、紅茶、お菓子、ビールなどなど。特にお母様方のパワーには驚かされます。

山のように買い物をして、空港へのお迎え時間ギリギリにホテルに戻りました。ホテルからは、我々11人とスーツケース11個を3台の車に乗せて、余裕を持って午後3時に空港に到着。最後の確認と挨拶をして出国ゲートへ。6日間の楽しい思い出が盛り沢山のオーストラリア海外研修でした。